

## 夜間交通事故 光って防ぐ

ふたの裏側に取り付けられたLEDライトで  
中から光るクッションドラム＝小松市役所で



小松の「イケガミ」市に緩衝材、ふた寄付

建設機械リース「イケガミ」（小松市今江町）は十六日、道路の車向け緩衝材「クッションドラム」が夜間に光るよう、発光ダイオード（LED）の装置を付けた同ドラムのふた八十個を小松市に寄付した。

クッションドラムは、道路の分岐点などに置かれ、注意喚起や車の衝突の衝撃を和らげる役目を果たす。同社は二年前、ふたの表に充電用の縦二十二センチ、横十五センチのソーラー板を付け、日没後から翌朝に、ふたの

裏側に取り付けた赤色LEDライトをドラム中で点滅させ、全体が光る装置を完成させた。

この日、取締役の池上和美さん（五十）が市役所を訪れ、和田慎司市長から感謝状を受け取った。

池上さんは「交通事故防止に使っていただければ」と話し、和田市長は「自社で開発してプラスチックの付加価値を生み出している」とたたえた。

（竹内なぎ）

紙面構成・古佳健太郎